

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	豊川保育園(1歳児クラス 15名)
年間テーマ	色で遊ぼう! ~様々な素材に興味をもち、好奇心を育てる~
活動日	8月

<テーマの設定理由>

テラスでオクラの栽培をすると、オクラが次々にできた。水遊びの際にテラスで出ると、子どもたちもすぐに気づき、「大きくなった」と気づく子がいる。都度料理して食べていたが、今回は大きくなりすぎてしまい、固くなってしまった。以前の料理保育の際に「おほしさま」と断面に興味を持っている子が多かった為、絵具につけてスタンプして遊ぶことにした。



<活動のために準備した素材・道具・環境設定>

丸く切った厚紙 絵具(赤・黄・緑・白・青・) おくら

<活動の内容>

変化に気づいた子に収穫してもらい、オクラを目の前で切り、断面を見せる。そして、絵具でスタンプする姿を大人が見せる。暑い日々が続いていたので、風が送れる団扇を作ろうと丸い形の厚紙を配る。また、今回は子どもが好きな色を決めてからやることにした。二人ずつ好きな色を聞く。合わせる子がいたり、それぞれの色を言う子たちもいた。ピンクが大好きな子が、今回は用意していなかったが、どうしてもピンクがいいと言う。そこで、赤と白を混ぜてみると、「これじゃない、ピンクじゃない」と言う。少し白っぽさが強かったことが嫌だった様子。もともとあるピンクを出すと満足そうに始める。ピンクを塗っていた子も「(次は)水色がいい」と言う。青に白を混ぜて作ると、嬉しそうに重ねていた。

<振り返りによって得た大人の気づき>

混色をすると、色が変わることを感じてほしいと思ったが、「違う」とその色じゃないと言う感性が面白い。また、どうしてもこのピンクが好きという強い思いを感じた。また、ある子に水色という認識があることに驚いたが、普段からお絵描きが大好きで、家庭でもよくお描きをしているとのこと。色の知識が豊富だということを知れた。目の前で作ってみると、色が変わっていく様子に目を輝かせていた。感じ方はそれぞれだが、色が変わることを伝えることはできたように思う。また、“次はこの色”などと、選ぶようになっている。